

2024年 5月20日
京成電鉄株式会社

千葉県企業局保有土地活用事業 新鎌ヶ谷駅前商業施設が着工しました

—駅周辺のにぎわい創出と回遊性向上に貢献します—

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2024年4月1日(月)に新鎌ヶ谷駅前における商業施設の新築工事を着工しました。

千葉県鎌ヶ谷市の新鎌ヶ谷駅前の県有地約7,000㎡については、千葉県企業局が駅周辺のにぎわいに資する事業提案を募集した結果、当社を代表企業とする共同企業体(京成電鉄(株)・東武鉄道(株)・大和ハウス工業(株)・東方地所(株)共同事業体)が事業者選ばれ、土地を取得しました。

この土地に、駅直結の複合商業施設(商業棟)と、分譲マンション(住宅棟)の2棟を建設するほか、駅の南北の往来を可能にする南北自由通路や東西通路、にぎわいを創出する2つの広場を整備する計画となっています。

商業施設には、駅周辺の昼間人口の増加を企図し、低層階には飲食・物販等を、5・6階にはオフィスを誘致いたします。

新鎌ヶ谷駅は、京成電鉄・新京成電鉄・北総鉄道・東武鉄道の4路線が乗り入れる交通結節点であり、京成グループでは、千葉県・鎌ヶ谷市と連携し新京成線の連続立体交差事業を進めるほか、北総線の運賃値下げや一部スカイライナーの新鎌ヶ谷駅停車を行う等、沿線の活性化に力を入れております。今後も鉄道事業と街づくりの両輪により、沿線地域の持続的発展を目指してまいります。



事業予定者決定時のイメージパース(手前:商業棟 奥:住宅棟)

新鎌ヶ谷駅前計画について

1. 概要 : 2023年3月、千葉県企業局が保有していた新鎌ヶ谷駅前土地の事業予定者に、当社を代表企業とする4社が選定され、商業と住宅の複合開発を推進しております。
2. 所在地 : 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷一丁目12番1外
(成田スカイアクセス線・北総線・新京成線・東武アーバンパークライン「新鎌ヶ谷」駅前)
3. 計画内容 : 商業棟 地上6階、地下1階建て(複合商業施設)
住宅棟 地上15階建て(分譲マンション)
その他 南北自由通路・東西通路・にぎわいの広場・緑の広場
4. 開業予定 : 2026年度

以上